

平成  
29  
年度

# 栃木市民大学



栃木市マスコット  
キャラクター「とち介」

## 受講生募集

栃木市では、「郷土」・「まちづくり」・「現代社会」・「健康・医療」の4つの分野について、年間プログラムを組んで学習する“栃木市民大学”を開催いたします。

本学での学習を通じ、受講生同士の交流・仲間づくりの機会としていただくとともに、地域での活動や日常生活において、様々な場面で学習した成果を活用していただけたら幸いです。

本年度の講座メニューについては裏面のとおりとなりますが、このほかにも学習を深めていただくための様々な学習機会を順次提供してまいります。

多くの皆様の受講申し込みをお待ちしております。

【開催時間】18時～19時30分

【会場】國學院大學栃木学園教育センター（栃木市境町22-30）

【受講料】2,000円（全11回）

【受講対象】どなたでも

【定員】150名（先着順）

【申込期間】7月27日（木）～8月15日（火）まで（仮予約含む）

※土日・祝日を除く（8:30～17:15の間）

【受付窓口】受講料を添えて、次のいずれかの窓口でお申込みください。

なお、生涯学習課でのみ、電話での仮予約を受け付けております。

栃木市教育委員会事務局生涯学習課（栃木市万町9-25 栃木市役所4階）

大平公民館（栃木市大平町蔵井2001-3）

藤岡公民館（栃木市藤岡町藤岡810）

都賀公民館（栃木市都賀町原宿521）

西方公民館（栃木市西方町本城1）

岩舟公民館（栃木市岩舟町静2292-1）

【問合せ先】栃木市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習課

TEL 0282-21-2486

FAX 0282-21-2690

メール gakusyu@city.tochigi.lg.jp





# 講座メニュー



## 第1回《9月8日(金)》 栃木出身の異色画家田中一村について

栃木に生まれ、「神童」と称された田中一村(1908～1977)は、幼くして上京、東京美術学校(現在の東京藝術大学)に入学して、東山魁夷らと同期生となった。同校を中途退学後は独自の画境を開拓、晩年は奄美大島にわたって南国の風物を情熱的に描いたが、無名のまま孤独のうちに同地で没した。没後その個性的な画風と生き方がNHKの日曜美術館で紹介されるなどして、高く評価されることとなった。その異色の生涯と画業を紹介する。

岡田美術館 館長 小林 忠 氏

## 第2回《9月26日(火)》 まちづくりと市民協働

まちづくりという概念は様々に説明されていますが、ここではわかりやすくまちづくりの背景や歴史にも触れながら市民主体のまちづくりの現代的な動向を学びます。特に抽象的でわかりにくい市民協働という概念を具体的な例を示しながら説明し、映像や事例をもとに受講生の皆さんが考える時間を作りながら展開していきます。

一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏

## 第3回《10月3日(火)》 空き家を活かしたまちづくり～負の遺産を魅力ある資産へ～

かつては家族が生活を営み、会話や笑いが響いていた家から人が消え、現在は約7戸に1戸は空き家と言われるほど空き家が増えています。ますます深刻化する空き家問題を解決するため、私たちは今何をやるべきかを共に考え、空き家に人を呼び戻すための取り組みを紹介しながら、空き家をまちづくりに活かすことを提案します。

栃木市都市整備部 住宅課長 大野 和久 氏

## 第4回《10月26日(木)》 医学の進歩と人の幸せを考える

近年、iPS細胞を使った再生医療やオプジーボで知られる癌の免疫療法の出現などで医学の進歩は日進月歩だが、それらの流れを解説しながら、どうしたら人の幸せのための医療ができるのかを考えます。

とちぎメディカルセンター 病院事業統括監 村野 俊一 氏

## 第5回《11月18日(土)》 相撲に見る、日本人の心【栃木市民大学5周年記念特別講演】

貴乃花部屋女将・花田景子氏による公開講座です。(栃木市民大学受講生以外の方も受講できます)

開催時間：14時～15時40分 会場：大平文化会館

貴乃花部屋女将 花田 景子 氏

## 第6回《11月21日(火)》 栃木の名工・磯辺一族について

富田(大平町)の名工・磯辺一族について、及び栃木市における作品についてお話しします。(定願寺成就院不動堂の扉の彫刻、烈国史像、双龍像、童形聖徳太子像、福正寺向拝彫刻など)

鹿沼市文化財保護審議委員 黒崎 嘉門 氏

## 第7回《12月9日(土)》 人生の教科書【共催：人権を考える市民の集い】

バルセロナ五輪金メダリスト・古賀稔彦氏による公開講座です。(栃木市民大学受講生以外の方も受講できます)

開催時間：13時30分～15時40分 会場：栃木文化会館

バルセロナ五輪金メダリスト 古賀 稔彦 氏

## 第8回《12月14日(木)》 栃木市の福祉について

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、要介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の自主性や主体性に基づき取り組んでいる本市の地域包括ケアシステムを中心に、栃木市の福祉の現状についてお話しします。

栃木市保健福祉部 部長 藤田 正人 氏

## 第9回《1月22日(月)》 田中正造とその時代

田中正造の生涯を自由民権運動や足尾銅毒問題、そして谷中村廃村問題などへの取り組みを通じて概観します。また、正造はまとまった著作は書いていませんが、数多くの手紙や和歌を残しています。それらを通じて、正造の思想、そして生き方や人柄に迫りたいと思います。

宇都宮中央女子高等学校 教頭 石川 明範 氏

## 第10回《2月7日(水)》 とちぎ文化圏の経済学(前編) 藍と麻の文化と万町

## 第11回《2月27日(火)》 とちぎ文化圏の経済学(後編) 酒と味噌の文化と嘉右衛門町

とちぎ文化圏とは旧栃木市と5地域の生活文化圏を意味します。本講座では、栃木市がより一層発展し、一体化する方策を旧栃木町が市政を敷くに至った歴史から学びとります。どの商店街も周辺の農業と消費を基盤として発展します。前編では、栃木の特産物であった藍と麻がいかに中心商店街万町を繁栄させ、豪商を生んだかを明らかにします。

後編では、酒と味噌が旧栃木町の副都心嘉右衛門町にいかなる栄華をもたらしたかを明らかにします。もちろん栃木らしさは、巴波川舟運や鉄道、道路、個性的な橋などの社会資本や太平山などの自然景観がつくりだしたものです。栃木らしさは人を創り、栃木らしさは人と歴史が創ったものです。この講座を通して皆さんの記憶の底から家族史がよみがえり、討論の場で花開くなら嬉しいことです。

國學院大學栃木短期大学 名誉教授 飯田 晶夫 氏